

NPO通信

釜ヶ崎

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 〒557-0004 西成区萩之茶屋 1-5-4 電話:06(6630)6060



『桜の下に野宿生活者は似合わない
年に一度の花見がぶちこわし』

ご不満 ごもっともなれど ご理解を・・・

『桜の下で野宿生活はしたくない
不況続きで私の人生ぶちこわし』

お花見の季節に、釜ヶ崎支援機構事務所におしかりの電話が3件あった。大阪市にはもっと多くの電話と手紙があったそうだ。

「花見の季節ぐらいなんとかならないでしょうか。子どもを連れて、中之島公園あたりを花見がてら散策しようとしても、あれだけテントがあってはゆっくりできません。テント張ってる人にも事情はあるんでしょうが、花見の季節ぐらい遠慮するように呼びかけていただけないでしょうか。」

大阪市緑の基本計画重点アクションプランは・・・

『都市において、緑は最も身近に感じる自然であり、四季を演出し、人々の心にうるおいとやすらぎを与えます。また、都市の緑の核となる公園は、レクリエーションの場となり、都市環境の改善や防災性の向上、良好な都市景観の形成など、安全で快適な市民生活に大きな役割を果たしています。』『豊かな都市生活の実現に向けて、市民の健康づくりや、いきがいつくりにつながる生涯学習・社会貢献・交流・仲間づくり・自己実現に対するニーズが高まってきており、その媒介として花や緑、自然が大きな役割を果たすことが期待されています。』

大阪市雇用施策推進プラン(基本計画)は・・・

『雇用・就業は、本来、あらゆる人々が、自らの意思に基づき、自己実現の一つの手段として取り組み、生きがいや生活に必要な対価を得るものであり、人間の基本的権利の一つをなすものと言えます。／そのため、本市においては、誰もが自己実現を達成し、豊かな市民生活を営むことができる環境づくりに取り組んでいくことが大切です。／また、地方分権の時代にあって、市民に最も身近な基礎的自治体として、就職の機会均等の確保に向けた取り組みや職業能力開発などをはじめとした雇用・就業に積極的に取り組むことが必要であると考えています。』

「都市の緑・公園は市民生活に大きな役割」と「雇用・就業は人間の基本的権利」が共に満たされない現状が大阪にはあります。

桜の木の下からの野宿生活者移住計画は可能か

野宿生活者のための施設—「私の家の近所はダメ」の声

野宿生活者は、すべからく霞を喰らいて仙人となり、天に昇るか、地に潜るか。それは仙人ならぬ身の人としては死を意味することに。

人は誰でも、自分の生活を快適に保ちたいと思い、努力しています。「生活を快適に保つ」という中身は、人それぞれと思われませんが、収入の多寡によって制限される側面を持ちます。最低限、一定額以上の収入と継続して収入があることが前提になります。収入の安定は、一般的には、働くことの継続によって実現されます。「大阪市雇用施策推進プラン（基本計画）」でも、「生きがいや生活に必要な対価を得るもの」と「雇用・就業」の基本的な性格が述べられています。

野宿生活者も、アルミ缶を集めて売る、路上で収集したものを露店で売る等で働き、幾ばくかの収入を確保しています。しかし、その額は、アパートの家賃を払い、毎日の食費をひねり出せるほどではありません。野宿生活者も、自分の生活を快適に保とうと努力します。その努力は、収入の多寡によって制限を受けますから、アパートの代わりに、桜の木の下でのテント生活となるのです。

子どもと花見を楽しみたい人は、野宿生活者よりも多くの安定した収入を得ておられる人であると思われれます。そういった人は、数的には、野宿を余儀なくされている人よりも多く、社会の多数派といえます。「最大多数の最大幸福」という言葉があります。単純に考えれば、公園を快適に利用したい人が社会的に多数であれば、快適さを妨げる要因（野宿生活者）をなくすことが、社会の最大幸福を保障することになります。しかし、野宿生活者も、かつては安定した収入を得ていた社会の多数派の一員であったであろうし、人として快適に生活することを追求する権利を持っています。「安定した収入」を基準にして、多数と少数の対立が現れたとき、「最大多数」を拡大し続け最大多

数が最大多数であることを保障する社会的努力がなければ、社会的緊張が高まり、いつだって「最大幸福」が実現できないことになります。

野宿生活者が社会再参入のために活用する「自立支援センター」や一時滞在場所としての「シェルター」などに対する「我が町に来るな」の声は、現実に公園で生活する野宿生活者と同様に、公園を快適に利用したい多くの人達の権利を踏みにじる質を持つものだという認識が社会の中で共有される必要があるのではないのでしょうか。多くの野宿生活者は、仕事があれば、安定した収入があれば、野宿生活者ではなくなるという基本的な認識も。

ご一読下さい「ホームレスの人権」



「解放出版社」から、野宿生活者がなぜ野宿を余儀なくされているのか、どのような困難があるのか、対策として何が求められているのかなどを簡明にまとめた小冊子が発行されました。

(定価1000円+税)。ご一読の上、更に疑問などありましたら釜ヶ崎支援機構へお手紙を。

NPO 釜ヶ崎通信・広報版

2003(平成15)年6月1日号

<http://www.npokama.org>
npokama@npokama.org

郵便振り込み口座
口座番号=00900-1-147702
口座名=釜ヶ崎支援機構